

令和3年度 明豊中学校 学校経営方針

令和3年4月1日
校長 山本 聖志

1 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、国際社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指す。

- 自ら学び深く考える生徒
- 思いやりの心と強い意志をもつ生徒
- 健康で明るく礼儀正しい生徒

2 学校経営の基本方針

公立学校義務教育の果たす役割・使命を踏まえ、豊島区教育委員会の教育目標や豊島区教育ビジョン 2019（豊島区教育振興基本計画）等の方針に基づき、本校の教育目標の実現に向けて保護者や地域の信託に応える教育活動の推進を図る。

（1）重点事項「社会を生き抜く力をもった生徒の育成」

予測不能と言われるこれからの時代に生きる生徒にとって、未来を切り拓き、たくましく生きる力を身に付けることが重要である。中学校教育においては、社会状況の変化に対応するとともに、今年度から完全実施となった新学習指導要領の趣旨を踏まえ、新たな時代に対応出来る教育を構築していくことが役割であり、使命である。

こうした背景のもと、「社会を生き抜く力をもった生徒の育成」を令和3年度の本校の学校経営における重点事項として位置付ける。

（2）目指す生徒像 ※生徒にとってはなるべき姿、教職員にとっては育てるべき姿と捉える

- ① 「心」を感じ、「心」を読み、「心」で動く生徒
- ② 書ける力、話せる力をもった生徒

① 「心」を感じ、「心」を読み、「心」で動く生徒 について

「心」は全ての教育活動の基礎となるものである。優しい心、強い心、根気、勇気、自立心、自己肯定感など、「心」を育成することは、生徒の生涯にわたって生き抜く力を育てることにつながる。

長年の取組の成果により本校では、基本的に生徒の豊かな心の育成は図られていると思われるが、刻々と社会状況が変化する中、私たち教職員自身が心を込め、質の高い教育を提供することで、いかなる変化にもしなやかに対応することが出来る生徒の育成を推進する。

- （ア）第1学年の重点・・・初めての行事や諸活動は、その意義を理解させ、まずは楽しく取り組ませる。事前・事後の指導を確実にを行い、達成感をもたせる。
- （イ）第2学年の重点・・・行事や諸活動において、発達段階に即した目標を設定させ、積極的に取り組ませる。自立心や自律的活動を重視し、満足感や充実感をもたせる。
- （ウ）第3学年の重点・・・進路の取組を通して自身の可能性を拓くとともに、最高学年としての自覚をもたせ、地域貢献・社会貢献の意識を高めさせる。

② 書ける力、話せる力をもった生徒 について

新学習指導要領が掲げる「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、本校においては、全ての教科・領域において「書ける・話せる」ことを意識した力量の形成を図ることが重要であると考えます。

教職員は計画的・系統的な指導に加え、どう学びとらせるかの授業や興味・関心を引き出す指導法を探究し、特に、書ける力・話せる力の育成を通して、学びの達成感や充実感につながる授業を目指す。

(ア) 第1学年の重点・・・「学び」の習慣化と定着

授業規律の確立とともに家庭学習の習慣化に力を入れ、学ぶことや伸ばすことの基礎の構築を図る。

(イ) 第2学年の重点・・・「学び」の意識化と二つのジリツ

自ら学び取る姿勢を構築させる。中堅学年であることを自覚させ、自立と自律の大切さを意識させる。

(ウ) 第3学年の重点・・・「学び」の意義の理解と自学の姿勢

卒業後の進路の実現に向けた取組の中で、生涯にわたって学び続けることの大切さを実感させる。

(3) 目指す学校像

- | |
|-------------------------------------|
| ① 開かれた学校
② 高め合う学校
③ 将来を見つめる学校 |
|-------------------------------------|

① 開かれた学校 について

(ア) あいさつを重んじ、けじめを持たせ、礼儀を大切にする学校

(イ) PDCA（計画・実践・評価・改善）のマネジメントサイクルを生かし、積極的に改善を図る努力をする学校

(ウ) 地域を大切にし、開校20周年に向け新たな伝統を築く学校

② 高め合う学校 について

(ア) 基本的生活習慣や学習習慣が定着しており、授業規律が確立された学校

(イ) 道徳教育が充実し、いじめを断じて許さない指導が徹底されていて、生徒一人一人の自己肯定感を大切にする学校

(ウ) 教職員一人一人が高い専門性をもち、個々の持ち味を最大限に生かして、自ら模範を示しながら多様なかわりの中で生徒を伸ばしていく学校

③ 将来を見つめる学校 について

(ア) 体験活動を重視し、より良く生きようとする創造性豊かな人間を育てる学校

(イ) 生徒の「生きる力」につながる授業改善・指導方法の研修に努める学校

(ウ) ICTや一人一台のタブレットPCを活用した授業や教育活動を多彩に展開しながら時代や社会状況の変化に対応出来る教育実践を行う学校

3 本年度の重点的な取り組み

- (1) 教育活動全体を通して人権教育を推進し、生徒及び教職員の人権感覚の向上を図るとともに、偏見や差別意識をなくし、いじめや体罰を許さない取組を推進する。
- (2) 発達段階（学年）を意識した学力向上のための取組を行う。各教科では、新学習指導要領に基づく指導と評価の一体化に基づく実践を行い、生徒個々の実態に応

じた指導及び学習支援を行う。

- (3) 学習の成果や課題を確認し、更なる向上心につなげるため、定期考査を有効に活用する。各学年の重点事項は以下の次の通り。
 - 1 学年・・・家庭学習の定着に向けた取組
 - 2 学年・・・学習の効率化を意識させた取組
 - 3 学年・・・学ぶことの意義や学習の成果を自覚できる取組
- (4) 昨年度の新型コロナウイルスへの対応を踏まえ、家庭や関係機関との連携を図りながら安全・健康を最優先にして、行事や部活動をはじめとする諸活動等、体力や技能の向上を目指して積極的に取り組む
- (5) 教育活動全体を通じて、生徒会や委員会活動、係活動など一人一人の活躍の場を与えることで、集団における帰属意識や責任感、やりがいや充実感など、生徒の人間的な成長を促す。SDGs（注）の理解に基づく教育活動を推進する。
- (6) 図書館司書と連携し、読書活動や新聞学習等を推進して言語活動の充実を図る。全校朝読書や図書室の利活用を通して、本を身近に感じ、読書を習慣として身に付けている生徒の育成を図る。また、新聞を活用した学習（NIE）を通して表現力の育成や読解力の向上を目指す。
- (7) 現在進められている働き方改革について、未来に生きる子どもの育成を図る学校教育の本質を見つめ直す機会ととらえ、校務の能率化、効率化を図りながら教職員の働き方と教育の質的維持・向上の両立を目指す。
- (8) その他 ※各分掌や係の役割等を踏まえ、具体化及び推進を図る。
 - ①あいさつの励行 ②校内研究の充実 ③言語環境の整備 ④幼小中一貫教育連携プログラムの推進 ⑤図書室・タブレットPCの活用 ⑥防災教育の推進 ⑦家庭学習の充実 ⑧教育相談活動の充実 ⑨補充学習の実施 ⑩読書習慣の定着 ⑪学習コンテストや検定への取組 ⑫ボランティア活動の奨励 ⑬SDGsの取組 ⑭特別支援教育の充実 ⑮校内環境の整備（清掃活動の励行、掲示物の充実）

（注）SDGs：2015年の国連総会で採択された「持続可能な開発目標」

4 共通確認事項

(1) 「体罰」と無縁な学校に 「いじめ」「不登校」はゼロに

「体罰禁止」を絶対的規範として確立する。「人権教育プログラム（学校教育編）」を参考に、教師の専門性、指導技術の向上を図っていく。全員がアンガー・マネジメント（6秒待って感情をコントロールする）のスキルを身に付ける。

(2) あいさつと笑いが飛び交う学校に

上下関係を強要するのではなく、人間として尊敬され、信頼感や安心感の基となる生徒理解に基づく指導力を発揮していく。職員室を訪ねてきた生徒がいたら必ず誰かが「反応」するようにする。品のよい笑いで学校を満たす。

(3) 学力向上に真剣に取り組む生徒・教師集団に

生徒・保護者の中学校教育に対する基本的な期待は、「学力向上」である。そのため、よい授業を日々実践し、「学習指導に熱心で、教員の専門性が高い学校」と言われるよう努める。

- ①相手を尊重し、思いやりをもって接するようにする。「先生に教えてもらってよかった！」「先生と出会えてよかった！」という安心感や充足感で学校・教室を満たす。
- ②言動に十分配慮して「伸ばす」方向で指示を出す。指示はできる限り端的に効率よく（可能な限り少なく）、「相手の話を聞かせ、理解させる」指導も重要。生徒たちは「子供」ではなく、「大人へのステップ」の発達段階にあることを踏まえた対応を行っていく。
- ③学びたいと思う気持ちを優先する体制づくりを行っていく。部活動や委員会活動は、生徒の自主性を育てるのに絶好の機会であるとの共通理解の下、生徒の学びと育ちをサポートしていく。

(4) よき伝統はそのままに「前例踏襲」や「例年どおり」は基本的にNGとする。

学校を取り巻く社会状況や要請等は、年々変化する。中長期的な視点に立ち、5年先・10年先に通用する教育づくりとなっているか、常に検証と検討をしていく。

(5) その他

「尊敬・感謝・啓発」を学校の風土としながら、教職員としての職を追究していく。
SNSの扱いには十分注意する。情報発信を行う際は、十分に内容を吟味し、必要に応じて管理職の承認を受ける。

5 参考 令和2年度生徒・保護者による学校評価（抜粋）

